

| | |
|-------|---|
| 団体名 | LFA 食物アレルギーと共に生きる会 |
| 活動テーマ | 食物アレルギーの人の災害対策 アレルギー防災講演【地域で考える防災～食物アレルギーを知る～】 |

【目的】

- ① 食物アレルギーがあると、配給されるものが食べられないケースが多いため、炊き出し時における原材料の貼り付けなど、少しの配慮で食物アレルギーだけでなく、皆に優しいユニバーサルな炊き出しができる事を知ってもらう機会を作る。
- ② 【自助】【共助】【公助】とは何かをしっかりと理解してもらう機会を作る。自分のエリアだけ限定ではなく、関西圏近隣のエリア同士、ネットワークを構築する事でより迅速な情報共有が行える環境を整える。

【活動実施方法】

- ① 講演の対象者を、アレルギーの人固定せずに、広く一般の市民の方にひろげ開催。
- ② 地域の自治体に後援をしてもらい、講演の中で、地域と一体になってアレルギーについて知る構成にする。

【活動成果】

- ① 6月の北摂地震、7月西日本豪雨、9月の北海道地震の際に、会で行ったアレルギー配慮物資の送付という支援活動が軸となり、講演を通して広く必要性を訴える事ができた。その一連の支援活動・講演活動を通して、関西にあるアレルギーの患者団体や NPO 日本アトピー協会、公益財団法人日本アレルギー協会関西支部と連携、関西ネットワークの構築につながった。
- ② この講演会活動や、2018 年のアレルギー配慮食品支援活動を通し、アレルギーがある
と、どういった事が困るのか、どう周りは取り組めるのかについての冊子を作成、全国
繋がったアレルギーの会を通し一斉配布予定。
- ③ 助成金を採択して頂いた時点のプランと比べ、災害支援を経験した後の講演会の内容は、より具体的な生の声を伝える事ができ、より重要な社会的問題点として地域の方、行政の方に理解していただけるきっかけとなった。

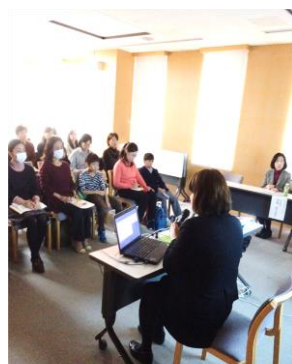
「地域で考える防災 大阪編」 平成 30 年 11 月 25 日 福島区民センターにて

講師：大阪市福島区役所／大野雄司氏、愛仁会高槻病院・しんあい病院／谷内昇一郎先生、大森真友子・佑人



「地域で考える防災 京都編」 平成 30 年 12 月 9 日 ウイングス京都にて

講師：同志社女子大学・大学院／伊藤節子先生、LFA 食物アレルギーと共に生きる会／大森真友子、会員中学生



「地域で考える防災 神戸編」 平成 31 年 1 月 13 日 神戸市勤労会館にて

講師：神戸市役所／高西宏和氏、認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク／中西里映子氏、神戸市医療センター中央市民病院／岡藤郁夫先生、LFA 食物アレルギーと共に生きる会／大森真友子

